

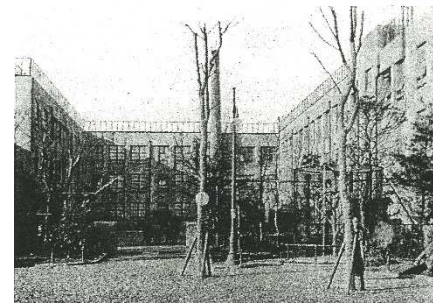
旧元町小学校及び元町公園の沿革及び現況等

1)旧元町小学校

(1)概要と沿革

①小学校の概要

名称：元町小学校
 所在地：東京都文京区本郷一丁目1番19号
 建設年代：昭和2年(1927)12月竣工
 設計者：東京市
 延床面積：4,878.89㎡
 構造・階数：鉄筋コンクリート造、地下1階、地上3階、塔屋1階



元町小学校外観
 (東京市役所編纂「東京市教育施設復興図集」/昭和5年)

②創建と沿革

明治44年 東京市立元町尋常小学校として創立
 昭和2年 現在地に移転、鉄筋コンクリート製の校舎(現校舎)に建替
 平成10年 生徒数減少のため閉校、真砂小学校(同区本郷四丁目)と統合
 平成11年4月～平成13年12月
 旧真砂小学校校舎建替のため、本郷小学校の校舎として使用
 平成14年～平成15年12月
 桜蔭中学校・高等学校の仮設校舎として使用、その後、選挙の際の投票所等としても活用される
 平成16年12月～平成18年11月
 東京田中千代服飾専門学校の仮設校舎として使用
 平成21年9月～
 学校法人順天堂に貸出、事業所内保育所(順天堂もとまち保育所)及び病後児保育施設(順天堂病後児ルーム「みつばち」)が併設

(2)保全修理の履歴及び保全状況【別紙 補足資料参照】

①耐震診断結果

診断の結果、構造耐震指標の値を下回っており、建物としての安全性は「地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある。」と判定された(平成21年4月の「文京区 旧元町小学校耐震診断業務 耐震診断報告書」より)。

②耐震改修の状況

平成22年2月の「旧元町小学校耐震補強工事実施設計」に基づき校舎の耐震補強工事が実施され、現在は耐震ランクA(十分な耐震性を保有しているもの)となっている(平成23年12月改訂「文京区が所有する公共建築物の耐震化整備プログラム」より)。

③外壁診断結果

平成24年2月に打診及び赤外線カメラによる外壁診断を行った結果、全般的に外壁の剥離や浮きが目立ち、特に壁面の大きい部分に多く見られた。

2)元町公園

元町公園の沿革と現況について、文京区元町公園現況調査報告書(平成18年11月/(財)文化財建造物保存技術協会)より整理する。

(1)概要と沿革

①公園の概要

名称：元町公園
 所在地：東京都文京区本郷1-1
 建設年代：昭和5年(1930)1月竣工
 設計者：東京市
 施工者：東京市
 面積：3,519㎡



元町南側正面入口
 ((財)東京都公園協会蔵/昭和5年)

②創建と沿革

元町公園は大正12年(1923)の関東大震災後、東京市により、焼失区域の各小学校に付随して建設された震災復興小公園52カ所のひとつである。戦後、公園は文京区の管轄となり、地域の公園として親しまれ使われてきたが、老朽化が目立つようになり、昭和50年代後半、身体障害者等の利用に向けたスロープ設置等の要望を受けて改修計画がたてられた。その際、古写真や図面、聞き取り等を参照して一部復元的整備が行われている(工事完了は昭和60年3月)。

(2)公園の立地

東京市の震災復興小公園は、小学校に隣接して建てられ、小学校校庭の延長、教材園、運動場の補助等の役割を持たせたとされている。また、災害時の避難地としての役割も持っており、境界部の構造は低い塀等にされていたという。

元町公園も元町小学校南側に隣接して建設され、主体となる広場は校庭に隣接して設けられている。また、公園は高さによって大きく南北の二段に分かれている。上段(北側)は「自由広場」と呼ばれる広場を中心に置いている。下段(南側)は段差を利用して空間を区切り、東西に小広場が設けられている。元町公園南側正面には中央に約2.1m(7尺)の大階段が設けられ、その正面にはシンメトリーにデザインされた壁泉をあしらった装飾壁が設けられている。その手前の踊り場から東西に小階段がのび、下段の東西広場に出られるようになっている。

元町公園は小学校校庭と一体化した上段(北側)と、立体的な植栽と壁泉で正面道路に対して構えをつくる下段(南側)、また崖地上で眺望を意識した西側と、住宅地側の落ち着いた顔を見せる東側、と言った具合に地形や周辺環境と調和しながら全体が構成されている。

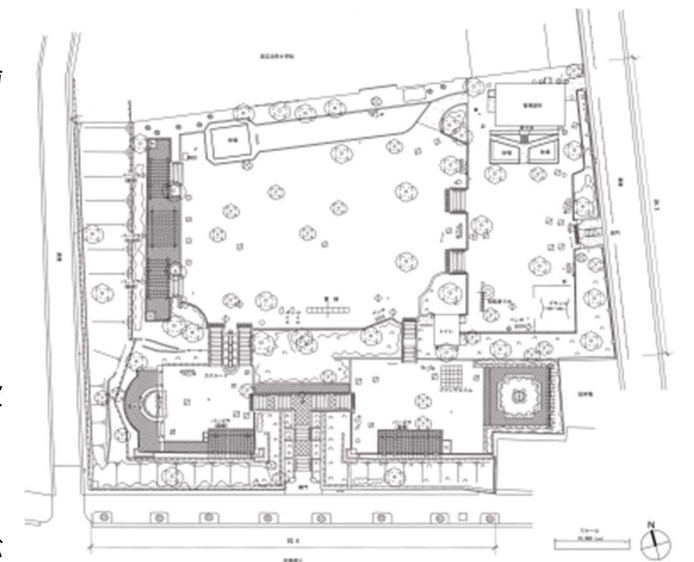


図1-1：元町公園 現況平面図